

# 成熟企業、成長へMBO

## アデランスやTASAKIが活用

経営陣が参加する買収の「MBO」が増えている。業績悪化に伴う事業の立て直しや中期的な海外投資が背景にあるとされ、最近ではかつて最大手のアデランスと宝飾品販売のTASAKIが相次いで実施した。MBOに動く企業のメリットと今後の展開について、永沢徹弁護士事務所（東京・中央）の永沢徹弁護士に聞いた。

弁護士

### 永沢 徹氏

「MBOについて教えてほしい。」  
「アデランスやTASAKIの買収は、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

### 中長期戦略立てやすく

「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

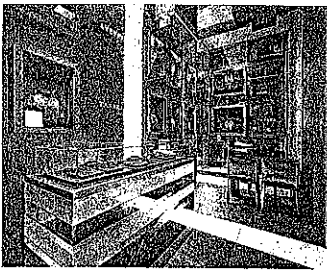
「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

### 株取得価格巡り訴訟も

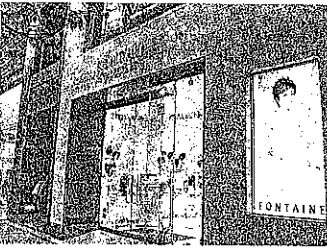
「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」



3月にMBOで株式の非上場化を決めたTASAKI(左)と、2016年10～11月にMBOを実施したアデランスの店舗(右)



MBOを実施した主な企業 (発表した年と企業名)	
2005年	ワールド
08年	すかいらーく
10年	コンビ
11年	カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)
11年	ホリプロ
16年	アデランス
17年	TASAKI



ながさわ 徹  
1982年 東大法学部卒業。84年弁護士登録。05年永沢法律事務所、現永沢総合法律事務所を設立。企業法務やM&A(合併・買収)、事業再生の分野に詳しい。現在、めがねややグリー、東野HID等の社外役員を務めている。

「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」

「MBOは、経営陣が自ら買収する形で進められている。経営陣が自ら買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。また、経営陣が買収することで、経営陣の意思が反映され、経営の方向性が明確になる。」